

審議会等の会議の記録

会議の名称	第4回伊勢崎市社会教育委員会議
開催日時	令和5年3月22日(水)午後2時00分～午後4時00分
開催場所	宮郷公民館 研修室1
出席者氏名	(委員) 栗原議長、福本副議長、下城委員、相川委員、柳澤委員、小谷野委員、菊池委員、赤石委員、椎名委員、清水委員、高畑委員、荻原委員、松島委員、細渕委員、大前委員、丸橋委員 (行政関係者) 新井生涯学習課長、関上社会教育係長、川田社会教育係長、常見施設管理係長、中田三郷公民館長、和佐田境剛志公民館館長、磯部係長代理(殖蓮公民館職員)、横関主任(赤堀公民館職員)、石原主任(あずま公民館職員)、河野主査(三郷公民館職員)、小林主査(境公民館職員)
傍聴人数	0人(公開)
会議の議題	1. 開会 2. あいさつ 3. 報告・協議 (1) 社会教育関係職員等研修会研究報告 (2) 伊勢崎学府制推進マニュアルについて ～地域と学校が連携・協働するための仕組みを整備するために～ 4. 連絡事項 人権啓発カレンダーについて 令和5年度の予定について
会議資料の内容	資料1 社会教育関係職員等研修会研究報告について 資料2 伊勢崎学府制推進マニュアルについて 資料3 令和4年度 社会教育委員会議およびその他の会議等について 資料4 令和5年度 社会教育委員会議年間計画等について
会議における議事の経過及び発言の要旨	1. 開会 2. あいさつ 伊勢崎市生涯学習課 課長 新井 信也 伊勢崎市社会教育委員会議 議長 栗原 ウメ子 3. 報告・協議 (1) 令和4年度の社会教育事業について 【事務局】社会教育関係職員等研修会研究報告について 【委員】包括協定を締結した企業はホームページで公開されていますか。

	<p>【事務局】 ホームページで公開しています。</p> <p>【委員】 今回、屋内商業施設でウォーキング教室を実施したとのことですが、定員が20名は少ないですか。</p> <p>【事務局】 これまでの実績を考えると、多くても20名程度で、これでも定員は多めにした。</p> <p>【委員】 定員が20名ならば、1つの公民館がウォーキング教室を実施するのもできるのではないかと。</p> <p>【事務局】 スタッフの人数を考えると、1つの公民館の職員の人数だけでは足りないもので、複数の館が共同で開催するのならば、できるかもしれない。</p> <p>【委員】 宮郷公民館でも、歩き方教室があり、美しい歩き方をそこで教わり、大変良かった。</p> <p>【委員】 学府という言葉が分かりづらいのではないかと。せっかくいい取組をしているのに、名前で分かりにくいのもったいない。</p> <p>【事務局】 学府とは、中学校区ということを表示している。名前については、今後の研究課題としたい。</p> <p>【委員】 地域学校協働活動は、本来ならば、地域コーディネーターを地域の人が担うことを、国は求めているが、伊勢崎では、公民館が地域のコーディネーターを担い、地域学校協働活動が推進されており、とても先進的である。</p> <p>【委員】 公民館が企画したことに対して、地域の子供たちを集めるのではなく、今後は、学校から公民館への働きかけがとても大切となってくる。公民館から年度末、年度初めに事業計画を学校と共に協議してもらえるとありがたい。募集間近に、相談するのではなく、早いうちに学校と公民館が協議できると、とてもありがたい。</p> <p>【委員】 私自身も、地域と学校の間に入ってできることをしていきたい。</p> <p>【委員】 コロナ禍の中、多くの活動が停滞しているが、今回の話を聞いて、こんなにたくさんの事業を実施していることに驚いた。今日の話で、連携・協働といった言葉がたくさん聞かれたが、様々なところと連携していくことが大切であると考えている。</p> <p>4. 連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権啓発カレンダーについて ・令和5年度の予定について <p>5. 閉会</p>
--	--